

良質なネギ、通年で栽培

水田輪作と土づくりで高評価



熊谷市
田沼唯利さん

【埼玉】熊谷市の田沼唯利さん(79)は、妻のちづ子さん、研修生、パートらと1畝の圃場でネギを通年栽培している。栽培が難しいとされる夏場でも良質なネギを生

産・供給している田沼さんが特にこだわっているのは土づくり。耕うん作業の際に酸素が入り込みやすい団粒構造に土を仕上げ、麦とソルゴーを緑肥として活用し、日々土壌改善を欠かさない。その土で育ったネギは太くて長く、甘みがつままっていると評判だ。

米を2年、ネギを1年の水田輪作を行っている田沼さん。水田には殺菌作用があり、稲の根は有機物を含む。だから農薬と肥料の費用を抑えられる」と話す。また、約5年かけて機械による定植でも崩れずに直立するネ

ネギ畑で研修生、パートナーらと田沼さん(左から2人目)と妻のちづ子さん(右端)

ギ苗をつくり、定植の機械化を進めた。「手間が10分の1ほどに減った。空いた時間は出荷作業に

使えるようになった」と笑顔で当時を振り返る。自身の栽培技術や作業方法を地域の農家に惜し

みなく指導してきた田沼さん。田沼さんの長年の努力が地域のネギ栽培を支えている。